～子どもは私たちの、ゆめ・みらい～

働く仲間のゆめ・みらい基金

ろうきん　こくみん共済 coop　連合沖縄　沖縄県労福協

基金レポート2022

職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。

発行 2022年9月／基金運営事務局　公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会

CONTENTS

◆関係団体からのメッセージ ……P1

◆「働く仲間のゆめ・みらい基金」とは …… P2～3

◆基金活用による支援取り組み事例…… P4～5

◆基金によせられた声 …… P6～7

◆組織的支援機関向けアンケートより皆さまからの声 …… P8～9

◆さまざまなアプローチによる支援取り組み ……P10～11

◆2021年度 収支報告 ……P12～13

◆労働者福祉事業をつうじた社会貢献 ……P14～15

◆広がる支援活動の輪 ……P16～17

◆〈0150（マルイチゴウマル）ゆめ・みらい運動！〉について …… P19

感謝をこめて

公益財団法人　沖縄県労働者福祉基金協会
理事長　東盛 政行

沖縄県内の労働団体をはじめ多くの会員・協力団体のご協力のもと創設されました「働く仲間のゆめ・みらい基金」も「働く」につながる支援を基本方針として取り組み、これまで「自助」と「公助」の狭間で見過ごされていた部分に、この「ゆめ・みらい基金」によって多くの子や養育する親への就労・生活支援など充てることができました。

2021年度「ゆめ・みらい基金」への寄付状況については、個人寄付金や団体寄付金、ろうきん社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済coop社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済coop指定整備工場協議会等から1,393万円余の寄付をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

2021年度は1件当たりの申請額原則6万円から10万円に引き上げや職業高校の資格取得支援のほか普通高校への支援対象拡大、また昨年度も取り組んだ食料品・物品支援についても、新型コロナウィルスの感染拡大が長期化し雇用経済や生活に大きく影響を与える中で、休業等を余儀なくされた生活に不安のある養育世帯等に対して引き続き支援を行ってきました。

このように子どもたちが夢をあきらめず「働く」につながる基本方針のもと、共助・共感による共生社会の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。

こくみん共済 coop〈全労済〉　沖縄推進本部
本部長　大庭 雄一

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、沖縄県内で社会的課題となっている「子どもの貧困」や、その根本的な問題である「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援の活動を通じて、確実に共感の輪が広がっています。

こくみん共済 coop沖縄推進本部では、組合員の皆さまのこの基金活動に対するご理解と共感の高まりもあり、昨年度よりも新規契約件数が増加し、寄付金額を増やすことができました。

また、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会においては、引き続き基金の取り組みに賛同いただき、車検入庫実績に応じた寄付を継続いただいたことで、2021年度も大きな金額を寄付することができました。

2019年6月に「こくみん共済 coop」という新しい愛称となってから「“こくみん”みんなのために、“共済”というたすけあいの仕組みを提供する“coop（協同組合）”」として、保障サービスの提供だけでなく、事業活動を社会活動の取り組みに連動させ、共済利用を通じた組合員の社会活動への参加に取り組んできました。子どもを起点とした全国的な社会課題の取り組みである「7才の交通安全プロジェクト」や「こども成長応援プロジェクト」とともに、「ゆめ・みらい基金」についても引き続き積極的に取り組んでまいります。

こくみん共済 coop 沖縄推進本部は、2021年11月に創立50周年を迎えることができました。これからも「みんなでたすけあい　豊かで安心できる社会づくり」の実現に向け、“たすけあいの輪”をむすぶ活動を皆さまと一緒に行ってまいります。

日本労働組合総連合会　沖縄県連合会(連合沖縄)
会長　東盛 政行

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめみらい基金」は、沖縄県内で大きな社会問題となっている「こどもの貧困」や、根本的な原因である「親の貧困」の解決・改善と、子ども達の夢と未来を支える取り組みを推進しており、支援を受けた方々からは、感謝の声と同時に、未来への希望を感じさせる声も届いています。

一方で、新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰に拍車がかかり、家計に深刻な影響を与え、低所得層ほど収入の落ち込み幅が大きく、子どもの貧困が悪化している状況が県内紙で大きく報道されています。

連合は、「子供の貧困は親の貧困」であると指摘されている事をふまえ、沖縄県・沖縄労働局に対し貧困解消に向けた制度の充実・拡充を求めるとともに、最低賃金の取り組みを最重要課題と位置づけ、取り組んでいます。

引き続き、連合沖縄に集う仲間に対し「働く仲間のゆめ・みらい基金」の重要性と、加入促進の取り組み、そして、子ども達の笑顔と未来のために、訴えていくこととします。

沖縄県労働金庫
理事長　高良 恵一

「基金レポート2022」をご覧の皆様、こんにちは!

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」では、基金の基盤である「0150(マルイチゴウマル)ゆめ・みらい運動」が目標とする1万口にあと僅かで到達することや、県内労働組合を中心とした働く仲間の皆様のご理解とご協力による多大なご寄付で、ますますその役割を広げています。心から感謝と敬意を表しますとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

沖縄県「令和3年度沖縄子ども調査」によると、子どもの困窮率は、28.9%と全国に比較して約2倍の数値を示しており、「子どもの3人に1人が貧困問題を抱えている」とした、本基金創設時の数値を改善するに至っていません。ひとり親世帯の多さや県民所得の低さ、不安定雇用等が改善を鈍らせていることがわかります。

また、コロナ禍に加え、ウクライナ情勢等の国際世情は、食料や日用品の物価高騰にも影響し、生活への不安は募ります。

相談者や組織的支援機関からの要請に対し丁寧に寄り添って対応していくために、ゆめ・みらい基金を支える構成組織で、課題の共有と連携の強化が必要と考えています。

昨年11月、本基金運営委員会では、①支援金予算の増額、②支援限度額の引き上げ、③ライフリテラシーツールの対応、④支援金使途の項目追加など、相談者の希望に添えるよう見直しをはかりました。皆様からいただきました「意志ある優しいお金」を地域社会の課題改善に向け、労福協基金運営事務局を中心に活用させていただきます。

沖縄県労働金庫も、福祉金融機関として社会貢献活動に取り組む仲間の皆さんと共に「働く仲間のゆめ・みらい基金」の強化をめざしてまいります。

ささえ・まもる・つなぐを「共」につくりだしてまいりましょう!

沖縄の子どもたちの「ゆめ」と「みらい」へ

子どもたちにとっては、自分を好きと言える環境が必要

子どもたちの、今

2021年度は、今まで自治体レベルでしか行われていなかった子どもの生活実態に関する調査が、初めて全国レベルで行われ「令和3年子供の生活状況調査の分析報告書」が発表されました。以上のことからも、国として子どもの貧困対策が喫緊の課題であるということが表れています。

沖縄県が公表した「令和3年度沖縄こども調査」では、収入減少といったコロナ禍の影響が、低所得世帯でより大きくなっており、さらなる格差や貧困の深化が危惧されています。また、長引くコロナ禍は「学校の授業がわからない」「イライラや不安を感じる」といった子ども達の生活面や、4年制大学への進学を諦める等進学希望にも影響を与えている可能性が示されています。調査の自由記述においては、子ども達から大人達への鋭い指摘や叱咤激励といったメッセージも多く見受けられ、子ども達の声を聞き、寄り添うことが求められています。

働く仲間の、今

沖縄県の「子どもの貧困」の背景にある特徴は、「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」などの支援が必要であることや個人が抱えるさまざまな困難に寄り添い解きほぐすためには、それぞれに合わせた伴走型支援の取り組みが必要です。

「働く仲間のゆめ・みらい基金」とは？ ～子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ～

「子どもは私たちの、ゆめ・みらい」を合言葉に、次世代を担う子どもの“夢と未来を創造”することを目的に立ち上がった基金です。

（公財）沖縄県労福協、連合沖縄、こくみん共済 coop（全労済）指定整備工場沖縄県協議会、こくみん共済 coop、ろうきんは、「働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの就学・就労支援および生活支援等	親（世帯）の収入の安定化へ
職業資格取得等にチャレンジする就学生（職業高校等の高校生）への支援	資格を持つことによる希望職種（夢）への就職支援
若者への自立支援	社会に羽ばたく際の公的支援が及ばない部分のサポートなど

基金の使途

移動手段確保支援、通信手段確保支援、資格取得支援、就職活動支援、就労開始・初期支援、生活安定化支援、子育てと仕事の両立支援、子ども・若者への支援、学業継続支援、高等学校における資格受験費用の支援など

ゆめ・みらい基金を利用するには?

◆申請方法について

ご本人と組織的支援機関からの共同での申請となります。
※ご本人からの直接申請は受け付けておりません。

ー「ゆめ・みらい基金」申請方法の特徴ー

本人(親=世帯)と支援機関・員の共同申請="サポート付き"の給付

組織的支援機関

市町村社会福祉協議会、生活困窮者自立支援機関など
本来業務として、継続的な就職・生活支援をしている組織

対象について

養育する子どもがいる世帯、自立に向けたサポートを必要とする若者等

応募資格について

- 公的制度・サービス・その他の社会資源などの支援がないことを原則としますが、公的支援がある場合でもそれだけでは不十分な場合についても支援します。
- 組織的支援機関と対象世帯は、基金による支援の効果が得られるまでの間、継続的な支援・関わりを前提とします。本人への支給・給付についても支援者を通じて行います。

助成額について

上限10万円以内　2022年度支援予算額:1,200万円

一人でも多くの必要とする方へ支援をお届けするため、支援拡充しました!

支援予算の拡充

◆単年度予算引き上げ

2020年度	800万円
2021年度	1,000万円
2022年度	1,200万円

◆1件あたりの申請金額の引き上げ

上限6万円以内　→　上限10万円以内
※そのうち、高等学校における資格取得受験費用の支援
上限3万円以内　→　上限5万円以内

支援内容の拡充

◆職業資格取得支援の幅が広がりました!

- 職業高校限定でしたが、普通高校　(※職業学科、専門学科設置校)にも対象を拡大
- 離島地区高校において、本島開催の資格試験に限り、航空運賃・宿泊費(上限3万円以内)の支援を新設

◆若者への自立支援の幅が広がりました!

対象が「児童園等福祉施設退所者」から、「若者」へと対象を拡大
これまでの児童園等退所者に加え、新たに、さまざまな理由で養育者による問題・課題に直面している若者へも支援の幅を拡げました。

◆物品の貸出し支援を導入しました!

就職活動や就労継続に必要な物品(自転車、PC、モバイルWiFiルーター、プリペイド携帯)の貸出し支援も行っています。
また、学習教材貸出支援として、子どもたちから働く大人まで学べる「ライフリテラシーボードゲーム(社会保障教育教材)」の貸出しを行い、労働教育啓発に寄与しています。

ライフリテラシーゲームを行う様子

・・・・ 基金活用による支援取り組み事例 ・・・・

事例1 生活安定化支援

水道代・ガス代・電気代滞納分、子の保育園給食費

申請時の状況

- 本人、妻、長女、次女、長男、三女、四女、次男の8人世帯。
- お互いに子どもがいる再婚同士。
- 本人は建築業のひとり親方として収入を得ていたが、コロナの影響を受け収入が半分以下に減少。あわせて数年前に発症した持病が再発。
- 再発により重労働である建築業を続けていくのが難しい状態になり休養。
- 預貯金と社会福祉協議会の特例貸付を利用しながら生活を送っていたが、貯金もなくなり厳しい状況。
- 1年程の休養を得て仕事へ復帰できる状態になり生活の目途が立ってきた矢先、本人含め家族全員コロナに感染し、入っていた仕事が全てキャンセル。
- 基金により滞納分の光熱費の支払いに充てることで、来月以降は本人の就労収入と自立支援給付金が入り生活の立て直しが見込めるため申請したい。

その後

- 生活の立て直しの見通しがつき、子どもたちも安心して学校や家庭で過ごすことができている。
- 本人も体調を見ながら仕事を増やしていくことができると安心しているとのこと。
- 支援者からも本人が前を向く力になって助かりましたとのコメントがあった。

事例2 生活安定化支援・子どもへの支援

高等学校卒業程度認定試験に係る宿泊費・交通費、生活費不足分

申請時の状況

- 本人、妻、長男、次女の4人世帯(離島在住)。長女は本島内で自立して生活。
- 妻の障害年金で生計を立てている。
- 本人は、数年前まで運搬の仕事依頼もあったがコロナ禍で仕事が減少。持病の悪化により長時間の運転が難しいため仕事復帰も見込めない。
- 長男は、中学校3年時に無料学習支援塾を利用、県立高校へ進学したが、通学継続が出来ず退学。
- 大学進学という夢があり、そのために必要な高等学校卒業程度認定試験の受験に向け自主学習。アルバイトも行い家計を助けている。
- 高等学校卒業程度認定試験は本島での開催。受験費用は長男のアルバイト収入で捻出できたが、航空運賃と宿泊費、食費の捻出が困難なため、申請を行いたい。

その後

- 高等学校卒業程度認定試験の受験し無事に合格したとのこと。
- 本人からも金銭面での問題を気にすることなく試験に挑むことができ感謝している。これからも目標に向かって頑張っていけそうとのメッセージが届いた。

事例3 就職活動支援・生活安定化支援

就労開始・通勤に係る車の修繕費、生活費・子の校納金

申請時の状況

- 本人、夫、長女、長男の4人世帯。
- 本人と夫はコロナの影響によりそれぞれ退職となり、生計を立て直すため就職活動をしていた。
- 公的資源と夫のアルバイトで生計を維持してきたが就職活動に専念するため退職し、世帯収入が大幅に減少。
- 自家用車が故障し就職活動や生活にも支障をきたしているが、修理費の支払いが難しい。
- 子の校納金や家賃は遅れながらもなんとか支払っているが光熱費は滞納が続いている。
- 公的資源だけでは光熱費や校納金の滞納が解消されない状況。本基金を申請することで世帯の生活安定が見込まれ、就職活動にも専念できることから申請したい。

その後

- 経済的な面だけでなく精神的にも世帯を支えられた。
- 「1番大変だった時期に助かった」「生活が安定したら絶対寄付側になろうね」と夫と話しているとメッセージが届いた。

事例4 子どもへの支援

子の入学準備用品に伴う生活支援

申請時の状況	●本人、妻、長男、次男、三男の5人世帯。 ●世帯主である本人に持病があり就労がままならず、保険適用外の高額な医療費等もかかることから家計が厳しい状況。 ●妻のパート収入や児童手当、親族などからの借入でどうにか生活を送っているが、生活費は毎月赤字が続いている。 ●長男の進学にあたり、校納金や制服代、体育着、教科書代等の入学費用の工面ができず、社協の貸付の相談をするも納付期限が間に合わない。 ●本人の体調を見ながら就労支援を行い、必要に応じて債務整理も検討している。 ●本基金を入学費用に充てることで子が安心して新学期を迎えられることから申請したい。
その後	●入学費用の工面が出来ないことに苦悩していたが、気持ちが前向きになった。 ●生活の安定だけでなく、親の就労意欲を引き出すきっかけとなった。

事例5 移動手段・生活安定化支援

子の面会のための移動手段・生活費

申請時の状況	●本人、夫、1歳、0歳の4人世帯。 ●第2子の切迫早産により治療が行われ、数ヶ月間の長期入院(第2子)が必要となった。 ●居住地域に専門医療施設がなく、本人は病院近くにウィークリーマンションを賃貸し、数ヶ月の入院加療に対応中(病院と自宅が離れている)。 ●近く第2子の状態が落ち着くと言われており、その際は第1子のいる自宅へ戻り、自宅から毎日病院へ通う予定(母乳を届ける必要あり)。 ●自宅との2重生活により家計負担が大きく、予期せぬ早産により貯蓄が底をつきつつある状況。 ●第2子の医療費は各種助成があるものの、生活費は助成を受けられるような支援がない。 ●出産育児手当が入る見込みがあるため、それまで本基金を活用し経済的負担の軽減や子どもたちの養育に安心して専念できることから申請したい。
その後	●安定した生活を維持することが出来、養育への影響も最小限に抑えることができた。 ●支援機関や支援担当者への信頼も上げることに繋がった。

事例6 就学と子育ての両立

スクーリング時の一時預かり支援

申請時の状況	●本人、夫、長女の3人世帯。 ●本人は長女を出産後、普通高校から通信制高校へ編入。 ●卒業後は美容関係の仕事に就きたいと夢を抱く。 ●資格を取得するため専門学校へ進学したいと考えているが、進学資金に不安を感じている。 ●必要に応じて就職情報提供機関を案内し、進学や就職に向けた支援を行っている状況。 ●高卒資格を取得することで今後の就職活動において職業選択の幅を広げることに繋げたい。
その後	●現在通信制課程2年であり、順調に単位取得に励んでいる。

事例7 職業高校・資格試験

高教組との連携

申請時の状況	●本人、両親、弟の4人世帯。 ●母親が病気で通院中のため、家事の手伝いや兄弟の面倒の負担が大きく、アルバイトや勉強に費やす時間がない。 ●本人は学習意欲が高く積極的な姿勢が見られる。 ●家計的な余裕がないため、将来の目標について真剣に考える機会が乏しく後ろ向きに考えていることが窺える。 ●資格取得に関心があるものの、試験費用が家計の負担になることから諦めかけている。 ●本基金にて支援することで、目標を持って生き生きとした学校生活を送り、自信を持った就職活動に繋げたい。
先生方からの声	●資格試験に合格し、大学への進学が決まった。 ●本人より「金銭面で心配することなく積極的に挑むことが出来た」と喜びの声が届いた。

基金によせられた声

子育て世帯への支援

【活用者から】

今回，ゆめ・みらい基金の給付をいただき，とても助かりました。ありがとうございました。今年は，高校・中学・こども園と3人の入学入園が重なり その準備費用と生活費として使わせていただきました。おかげさまで，みんな充実した新生活を送っています。

この制度を教えてくれた支援員の方や，支援してくださっている方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

一番欲しかったカバンを買ってもらいました。
ありがとうございます。

【活用者から】

ゆめ・みらい基金運営事務局の皆様

この度は突然の相談にもかかわらず，親切，丁寧として迅速に給付までの対応をいただきましたこと，親子共々心より感謝申し上げます。

息子の初めての高校進学ということもあり，想像以上に出費が重なってしまったため，途方に暮れておりました。

そのような状況の中，優しく親身になってお力添えをいただき感謝の気持ちでいっぱいです。

息子も将来に大きな夢と希望をもって高校に進学しようとしております。

子どもながらに「立派な大人になって基金の皆様にいつか恩返しがしたい。」と話しておりました。

今回，ゆめ・みらい基金を紹介して下さった関係職員の皆様，実際に給付を決定して下さった基金の皆様に対し，家族を代表してお礼を申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

【支援機関から】

この度は、ゆめ・みらい基金の給付決定ありがとうございます。

貴基金のおかげで、お子様二人のダブル入学に際して、制服や体操着等の購入をはじめ、無事に入学式の準備を整えることができました。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

今回の申請を通して、世帯の状況を再整理できたと同時に、相談者ご本人にとっては、家計状況を見直す良い機会となりました。家計収支表のフォーマットをコピーして今後も継続して活用したいと話しています。

今後とも、より一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【支援機関から】

「子ども達が夢をあきらめない社会へ」ゆめ・みらい基金の決定ありがとうございました

相談者は受験を乗り越え高校進学が決まっていましたが，保護者の健康面によりお仕事が難しい状態が続いていたため，入学に必要な資金が工面できず，借入相談にも同席しましたが，支払い期限に間に合わないとのことで，相談を受けながらも不安にされている様子が伺えました。

決定の一報を頂き，相談者家族にお伝えすると感謝の言葉と安堵の言葉，相談者の笑顔が垣間見えたところに希望を感じました。これからいろんな体験や機会を得ることによって，明るい未来に進んでいけることを期待したいと思います。

保護者も医者から助言を受け就労に向けた意欲が上向きとなり，地道に求職活動をされた結果，内定をもらえたりと初日相談の際，とはべ家族に笑顔も増えてとても明るくなりました。支援機関としても今後も自立に向けた伴走支援を行っていきたいと思います。

職業資格取得等についての支援

【活用者から】

私と私の家族が新型コロナウイルスに感染してしまい約1ヵ月ホテルや家で隔離され、第二種電気工事士の実技、アーク・ガス講習も受けられなくなりました。その上母親が1ヵ月仕事を休んだため1ヵ月の給料が6割に減らされました。コロナのせいで、何もかもが上手くいかず、不安な気持ちになっていました。しかし、この給付金を受け取ることができ、不安な気持ちもなくなり今まで以上に勉強や資格取得に熱心になりました。また第二種電気工事士もリベンジしたいと思います。今回この給付金を受け取ることができとても感謝しています。これからは、困っている人がいたら何か助けられるような人になり、社会を支える人になりたいです。

【活用者から】

ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金を支えてくれる人達へ。

働く仲間のゆめ・みらい基金 本当にありがとうございます。僕は今、自分、妹をお母さん1人で支えてくれているので国家試験の受験料をご支援くださりとても助かっています。僕はこの支えてくれた事に感謝し受験勉強に向けて絶対に合格するようにたくさん勉強したいと思います。そして高校を卒業したら電気関係の仕事に就きたいと思っています。

最後になりましたが、ご支援をくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。

若者への自立支援

【活用者から】

ゆめ・みらい基金の給付ありがとうございました。家族からのDVを受け、早く家を出て自分の生活をしたいという気持ちはありつつも、中々資金も足りず、携帯の料金を払うことも難しい状況の中で、今回の給付を受けることが出来きとても助かりました。自分ではどうすることも出来なかった環境から抜け出すことができ、前に向かって少しずつ歩み出すことができます。感謝の気持ちでいっぱいです。頂いた支援をむだにしないように、これから自立に向け頑張って、社会に貢献していきたいと思います。

【支援機関から】

ゆめ・みらい基金の皆さま

この度は給付金の支給を決定していただき、ありがとうございました。相談者の方は親族からの暴力から逃れる為、必死に生活を立て直そうとしていました。しかし、さまざまな理由から公的支援が受けられず、暴力に耐える生活が続いていました。ゆめ・みらい基金さんからの支援金を使って、自立生活を始める事ができ、相談者の方は「やっと安心して生活ができる」と、とても喜んでいました。「支援してもらった分、これからは自分が誰かを支えられる人になりたい」と前向きな様子も見られていました。支援機関としても、前向きな相談者の方の姿を見る事ができ、とても嬉しく思っています。本当にありがとうございました。

「ろうきん こくみん共済coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」組織的支援機関向けアンケートより皆様からの声（一部抜粋）

※原文のまま掲載

※組織的支援機関とは、本来業務として継続的な就職・生活支援をしている機関・組織です。基金の利用は相談者の自立まで支援を行うことを前提に、組織的支援機関との共同申請が必要です。

1 活用前後で自立に向けて改善しましたか？

① 改善した	45
② 改善していない	3
③ その他	10
合　計	58

2 改善したと回答した方へ どのような状況でしょうか？（複数回答可）

① 就職して生活が安定している	6
② 増収している	2
③ 就職しているがまだ厳しい状況	5
④ 就職活動中	4
⑤ 資格を取得した	11
⑥ 子が進学し通学中	9
⑦ その他	27
合　計	64

質問2にて【⑦その他】と回答した方たちの状況

【仕事・収入が安定した】

◆申請者も仕事が戻り収入が戻っている状況。妻もシフトが増え、収入が安定して来ている。

◆受給決定のタイミングでダブルワーク先の就職決定と、母子寡婦福祉資金貸付金の目途が立ったことで、とても喜んでいました。

◆生活の為にダブルワークをしていたが、一つの仕事に絞ることが出来、子育てにも余裕を持つことが出来た。

◆第2子の長期入院に因る一時的な支出増に対する支援により、安定した生活を維持することができ、第1子の養育への影響も最小限に抑えることができた。

【次の支援につながった】

◆離婚成立前でひとり親支援を十分に享受できず金銭的に困っていた時だったのでとても助かりました。その後ひとり親としての支援を受けることができ、無事当機関の支援終結に至りました。

◆特別児童扶養手当の受給が決定。本人に知的障害の疑いがあり、検査に向け心理士・役場と連携し診断に向けて進めている。

【子どもの進学に向け動き出した】

◆高卒認定試験を合格し、現在はアルバイトをしながら来年度の専門学校進学のため資金作りをしている。

◆希望の大学入学にむけての学習塾に通えるようになり自分の夢に一歩近づいた。

【不安が軽減し次のステップへ向けて動き出した】

◆お金の心配が軽減された事で精神的なゆとりが出てきた様子が見受けられる。就職活動についても意欲的に活動されている。娘も新天地での生活にまだ不安はある様子だが自身の夢の実現に向けて頑張っている。

◆妊娠中であったため、出産前に出産準備用品や子育て用品を準備することができ安心して前向きに子育てに臨むことが出来た。

活用者の声

【収入が減少している時期をのりこえることができた】

◆子に障がい（自閉症で情緒が安定しない）があり、母親が在宅で面倒を看ていますが、転校したばかりで学校・児童デイの環境に子が馴染むまで復職が難しく、公的な手当が受給される間経済不安を抱えていましたが、ゆめ・みらい基金を生活費（家賃含む）に利用できたので、収入が全く無い期間を乗り越えることができました。ありがとうございます。

◆求職活動中のため、世帯に入ってくるお金が限られていたため今回ゆめ・みらい基金を活用する事ができてとても助かった。

◆コロナ離職後も資格を活かせばすぐに再就職できると考えていたが、予想以上に就職活動が長引いてしまい、子の授業料を切り崩して生活していた。教育ローンの申込みをしたが、無職のため審査が通らず途方に暮れていた時に、ゆめ・みらい基金の話があった。おかげで無事進級できてほっとしている。

◆突発的な出費が重なったため家賃を滞納していたが、ゆめ・みらい基金を活用し家賃滞納が解消したことで、安心していた。

【子どもが進学することができた】

◆コロナ禍で収入が減少している中で子どもの進学・入学の費用が捻出できず、途方に暮れていたので本当に助かった。

◆基金のおかげで子どもの制服を購入できました。支援がむだにならぬようこれからもがんばっていきます。

◆子の高校教科書を購入できたことで学校生活をスムーズに送ることが出来た。個人事業主でしたが、基金活用後に常用就職し生活の安定を図ることが出来ました。

◆子に「手に職をつけなさい」と幼い頃から言い聞かせていたものの、実際に美容専門学校への進学が決まり、予想以上に学費等が掛ることが分かり、学費は奨学金で賄えるが、教材費に困っていたので、とても助かりました。

【安心して過ごすことができた】

◆光熱費や子供の保育園の支払いなどの滞納が続き、子供達が安心して生活ができない状況で苦しい状況だったが、ゆめ・みらい基金のおかげで、安心して家で過ごす事できる様になり本当に安心した。

◆基金を利用できたことで、生活に不安を残すことなく安心して子供を県外派遣することが出来、とても助かりました。また、子供の頑張っていることを無事に応援できたので、本当に嬉しく

思っています。
◆このような制度があることを知らなかった。日々の生活で余裕がなく(お金に)本当に助かった。子どもにみじめな思いをさせずに済んで安心している

【次は自分が助ける立場になりたい】
◆これからは、仕事や子育てをがんばって同じような立場に置かれている人たちを助けていきたい。
◆0150運動に参加したい。

【職業高校・資格試験】
◆今回の基金を通して、無事学校を卒業する事が出来ました。このような取り組みをもっと増やしてほしいと思います。本当に助かりました。
◆資格を取得したことで、将来の仕事の幅が広がりました。
◆無事に就職することが出来、親への負担を軽減することが出来ました。
◆卒業単位に達することが出来、就職試験にも合格することが出来ました。

支援機関からの声

【相談者の気持ちが変わった】
◆これまで相談来所に消極的だった方が、ゆめ・みらい基金の申請をきっかけに、生活の困りごとを話してくれるようになりました。今後は困ったことがあれば一人で抱え込まずに、周囲の人や支援窓口に相談できるようになると思います。
◆支援を受けることにより社会の温かさが伝わり、ひいては生きる力となると実感しました。申請は既に自立し社会人として働き、納税者となり社会に貢献したいという志が芽生えています。関係者の方々に深く感謝申し上げます。
◆ゆめ・みらい基金を利用する事で、利用する世帯の気持ちにゆとりがでて今後の事を考える事ができるようになり、気持ちを大きく前に向く事ができたと思います。コロナ過でまだ改善とはいきませんが、支援側だけの気持ちだけではサポートはできません。相談者みずから頑張りたいと思えるようになって初めて支援ができると思います。今回ゆめみらい基金でその頑張りたいという気持ちを大きく引き出していただけたと思います。
◆いろんな相談した所に断られていて、疲弊した状態で来所する人が多く、現物支給で満たされない事をゆめ・みらい基金はしてくれるので、支援機関としても本人の自己肯定感が上がっていく所を肌で感じている。
◆「この数千円があればできるのに」という相談者の落ち込んだ声や表情が基金を活用したことで凄く明るくなりました。それからの自立はとても早かったです。今後も自立を後押しすることができる社会資源の1つとして提案していきたいと思います。
◆最初に給付頂いた事で安心して取り組めた事がきっかけとなり、親子関係の歩み寄りもあった。支援へもスムーズに乗ることが出来ました。夢を持ってる息子さんでしたが、資金が壁となっていました。高卒認定資格を得たことで親子で話し合う機会も持て同じ目標に向かって歩み始めています。

【丁寧・迅速な対応で助かった】
◆「今、必要なお金」を支援することが出来ないことはとても辛いものです。「ゆめ・みらい基金」のように早い対応は支援機関として心強いです。また、事務局の皆様の対応や言葉の一つ一つに優しさと温かさを感じました。
◆相談に対して、丁寧にかつ迅速に対応頂きとても助かっています。相談者の困り事を即座に解決できることにより、支援機関への信頼関係構築にも役立ち、その後の支援の幅が広がるのですごく良い制度だと思います。ゆめ・みらい基金を受ける事だけで終わらせることなく、相談者の今後の支援に活用していきたいです
◆母子寡婦や社会福祉協議会の貸付や給付などにも該当しないが、子どもの進学に関わることで、あと少し、あと一歩という所の支援で早急に対応して頂き、本当に助かりました。

【公的サービスとは異なった利用しやすさがある】
◆公的なものではどうしても補えない部分に活用できたことで、申請者の安心につながったと感じる。また申請書作成の段階からアドバイスをもらう事ができ、使う人の立場に立った運用がなされているなと感じた。
◆使用途の相談可能な給付型支援はなかなか無い中で、ゆめ・みらい基金では担当者様もとても親身に対応して下さり、基金に助けられることで我々支援者への信頼も上げることができました。行政サービスではできないことなので、大変ありがたかったです。
◆出産前の相談者は、子を宿しているにも関わらず、“産まれていない”ことを理由に、各相談窓口で対象外とされていた。今回、制度を利用できたことは、本人を含む未だ産まれ出でない命の存在を認められたことに繋がり、支援者としても考えさせられる機会でした。有難うございました。

【潜在的な対象者が見つかった】
◆当初、別の貸付制度を利用しようとしたが保証人がなく利用を断念し、当センターでの相談支援を開始。本ケースを通して、当相談者だけでなく、他にも困っている相談者がいるのでは?と思い、声を掛けてみたところ、たちまち申請者が増えた。本ケースがなければ、見過ごされた世帯があったかと思うと、ゾッとした。モノ言わない相談者への対応を今一度、見直したいと痛感した。

【進学を諦めずに済んだ】
◆母子家庭だからと言って、私立高校への進学を諦めるのではなく家族をはじめ、こうした支援機関や大人たちが応援していることを子どもや親にも伝えることができて、とてもよかったです。

【職業高校・資格試験】
◆これまでよりも多くの生徒が資格にチャレンジするようになりました。
◆卒業したいという3、4年生が増えたように感じました。
◆資格を取得後、出席率が上がった生徒が見られました。
◆資格にあまり前向きでない生徒も挑戦していた。

さまざまなアプローチによる支援取り組み

ゆめ・みらい基金では個別の支援だけではなく、数多くの世帯・子ども達にアプローチするための取り組みを行っています。内容は、食料品支援の他、「生理の貧困」解消に向けた支援、キャリア教育イベントなど、多岐に渡りました。

食糧品・物品支援

長期化する新型コロナの影響など、食料や日用品を必要とする子どもたち（養育世帯）へ支援を行いました。必要な人へ必要なものをお届けするため、オーダーメイド型の配布内容の企画、事務局にて直接自宅前へお届けをする置き配の実施（那覇市限定）など、ニーズ、情勢に合わせた幅広い支援を実施しました。

開催時期	配布先	配布内容	支援額
4月	生活困窮窓口、母子支援機関等 ●県内20機関	●お米　5kg×200袋 ●お米券　240枚	514,800円
5月	生活困窮窓口 ●離島2機関	●お米　1kg×100袋 ●お米券　20枚	49,560円
9月 （50セット） 11月 （80セット）	主に労福協内の生活困窮窓口 （那覇市・沖縄市等） ※那覇市内は事務局にて置き配支援を実施	●レトルト食品 ●スポーツ飲料 ●トイレットペーパー等の日用品も支援	424,608円
12月	生活困窮窓口、母子支援機関等 ●県内19機関 ●離島2機関	●県内19機関 お米　5kg×220袋 ●離島2機関 お米　1kg×110袋	447,629円 ※全駐労沖縄地区本部寄付金を活用
1月～2月	労福協内の生活困窮窓口5カ所	各機関10万円を予算とし、世帯状況に応じたオーダーメイド型物品支援に活用	385,091円

支援機関から、ありがとうの声

★主食であるお米の提供に、育ち盛りのお子さんを抱えている皆さん、大変喜んでいました。

★お米の寄贈にはどの世帯も大喜びでした。「ゴールデンウイークに向け、食費が助かります。」などたくさんの喜びの声が上がっていました。

✤「生理の貧困」解消に向けた協同取り組み

コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題の解消に向けた一助として、公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会、沖縄県教職員組合（以下、「沖教組」）、沖縄県労働金庫との三者の協同で、「生理の貧困」解消に向けた取り組みを2022年6月から開始しました。

学校現場に専門性を有する沖教組と連携し、生理用品の入手に困難を抱える児童・生徒へ「吸水サニタリーショーツ」を無償配布することで、生理用品の調達頻度や、それに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげます。

❶ 取り組み趣旨

①コロナ禍で顕在化した「生理の貧困」という社会課題に対し、会員団体等との協同で解消に向けた取り組みを行う。

②一般的な生理用品（使い捨て）の配布は広がりつつある中で、「吸水サニタリーショーツ」という選択肢を組み合わせることで、生理用品の調達頻度やそれに係る精神的負担、経済的負担の軽減につなげる。

③SDGsの観点からも使い捨て生理用品のゴミ排出削減の一助とし、環境へ配慮した取り組みとする。

❷ 具体的な取り組み

【取組名称】 沖教組「吸水サニタリーショーツ」無償配布制度

【取組期間】 2022年6月1日（水）～2023年3月31日（金）※在庫がなくなり次第終了

【配布対象】 主に経済的な理由で生理用品の購入が難しいと思われる児童・生徒
※対象者の判断は養護教諭、またはスクールソーシャルワーカーが行います。

【配布商品】 ユニクロ製「吸水サニタリーショーツ」同一サイズ　2枚で1セット
小学生向け 133セット、中学生向け 151セット　合計284セット（総額899,982円分）

✤ 伊平屋村の子どもたちを対象としたキャリア教育イベントの支援

沖縄本島の子どもたちとの社会体験の格差を無くし、イベントを通して子どもたちの知見を広げ、自己肯定感を高めてもらうことを目的として実施しました。今回はキッチンカーを派遣して、タコス作りをしました。初めてタコスを見る子もおり、目の前での調理に大興奮で、スタッフにも質問攻めでした。最後は大満足で完食でした。

【実施団体】 一般社団法人TAKE-OFF（沖縄県子どもの貧困対策事業 実施団体）

【実施日】 2022年8月18日（木）・19日（金）

【支援内容】 約50人分の食材費やキッチンカーなどの移動費等（支援金額：50,000円）

2021年度「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

（2021年4月1日～2022年3月31日）

基金の残高

【収入】

項　目	金　額	内　容
前期繰越金	23,226,747円	
団体寄付金	3,949,512円	各労働組合様等
個人寄付金	5,007,743円	0150ゆめ・みらい運動（定額自動寄付）等
ろうきん社会貢献寄付商品拠出金	1,086,800円	
ろうきん　わしたシマづくり運動	579,066円	
ろうきん　感謝祭寄付金	975,860円	
こくみん共済coop沖縄推進本部社会貢献寄付商品拠出金	1,363,800円	各指定整備工場の車検入庫分
こくみん共済coop指定整備工場沖縄県協議会	976,800円	
合　計	37,166,328円	

【支出】

項　目	金　額	内　容
（使途別）		
①移動手段	145,385円	3件
②通信手段	17,000円	1件
③資格取得	0円	0件
④就職活動支援	0円	0件
⑤就労開始・初期	0円	0件
⑥生活安定化	3,714,750円	42件
⑦子育てと仕事の両立	0円	0件
⑧子どもへの支援	2,203,783円	32件
⑨就学と子育ての両立	2,137,480円	17件
⑩職業高校・資格試験	416,521円	37件
⑪その他	1,360,511円	5件（置き配、生理の貧困支援等）
⑫移動手段（貸出）	42,560円	2件
⑬通信手段（貸出）	243,158円	8件
⑭パソコン貸出支援	498,945円	5件
⑮学習教材貸出支援	497,200円	
⑯コロナによる緊急食糧支援	1,436,597円	支援機関へ米・缶詰類の配布、支援機関21箇所（宮古・八重山含む）
小　計	12,713,890円	152件（133名）
（その他）		
消耗品費	0円	
通信運搬費・燃料交通費	16,452円	お礼状送付切手等
支払い手数料	5,225円	
会議費	16,000円	基金運営委員会
小　計	37,677円	
合　計	12,751,567円	

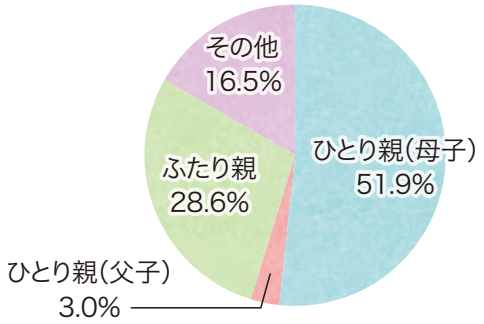
【収支計】

収　入　計	37,166,328円
支　出　計	12,751,567円
繰　越　金　額	24,414,761円

【申請者地区別一覧】

		人　数
地 域	南　部	53人
	中　部	56人
	北　部	22人
	宮古・八重山	2人
合　計		133人

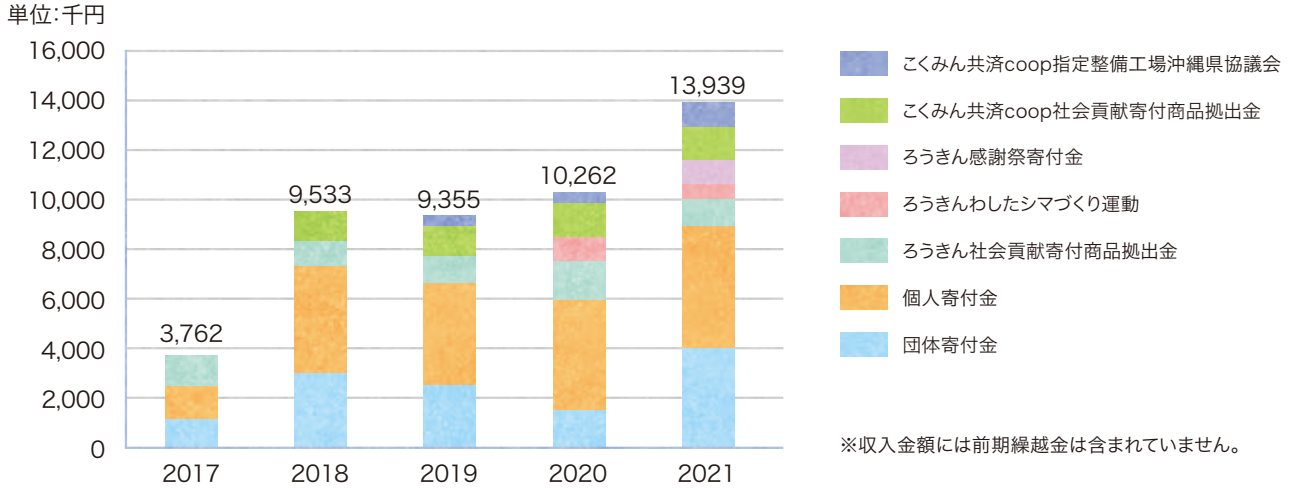
申請者世帯別割合



主な申請機関

1. 生活困窮者自立支援事業(離島含む市町村)
2. 高教組(各学校の先生方)
3. 社会福祉協議会
4. 母子生活支援施設
5. 労福協自主事業
6. 離島を含む各市町村窓口

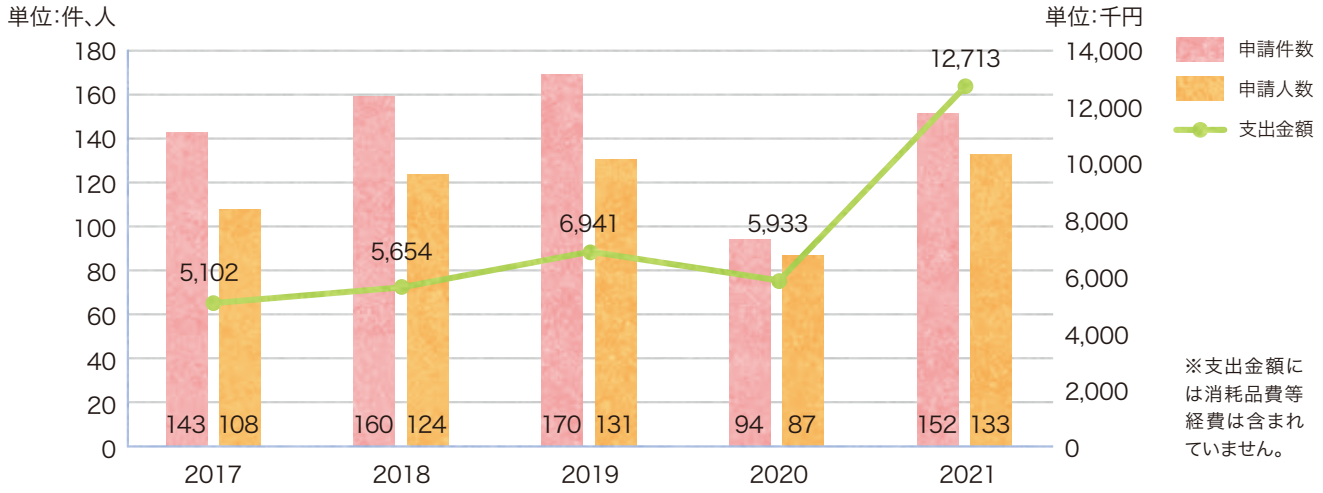
収入の推移



※収入金額には前期繰越金は含まれていません。

寄付金額は年々増加しており、多くの方がゆめ・みらい基金に賛同していただいていることがわかります。事務局としては、ろうきん地区推進委員会等寄付団体へ、寄付金の活用事例報告を積極的に行いました。想いのこもった寄付金が生きたお金として活用されていると知ることで、継続的な支援、新たな支援に繋がっていると考えています。

支出の推移



※支出金額には消耗品費等経費は含まれていません。

長引くコロナ禍で、公的支援を使い切った世帯からの申請も見られました。使途別では「生活安定化支援」「子どもへの支援」の申請が多く、親の経済状況が起因となり子どもに関わる申請が高くなる傾向が見られます。

また、「子どもへの支援」では、入学前の年度末に申請が集中しています。世帯収入減少により固定費がままならない中、突発的な支出が重なり困窮状況に陥る世帯からの申請や相談が増加しています。

労働者福祉事業をつうじた社会貢献

●本取り組みによる寄付金の贈呈については2022年9月以降に予定しております。

ろうきんの取り組み

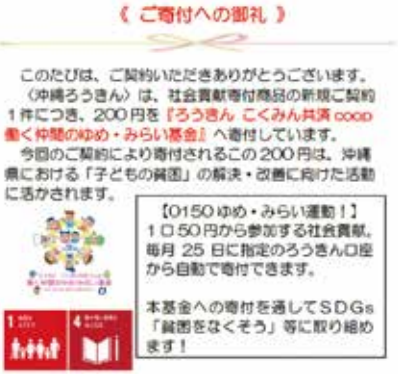
◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2021年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規取扱い1件につき200円を〈ろうきん〉が負担し、総額1,353,200円(6,766件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、7,327,400円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

預金商品・私的年金制度商品	財形貯蓄、エース預金、iDeCo（イデコ※個人型確定拠出年金）
融資商品	教育ローン、福祉ローン、カードローン、自動車ローン

社会貢献寄付商品をご契約いただいたみなさまに対し、メッセージカード入りのポケットティッシュをお渡しし、感謝の意を伝える取り組みを行っています。

また、その際には「〈沖縄ろうきん〉を利用することで、誰でも社会貢献活動に参画できる」ことや1口50円から始められる定額自動寄付〈0150ゆめ・みらい運動〉について説明し、福祉金融機関として、さらなる支援の輪・共助の輪を広げてまいります。


《 ご寄付への御礼 》

このたびは、ご契約いただきありがとうございます。
〈沖縄ろうきん〉は、社会貢献寄付商品の新規ご契約1件につき、200円を『ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金』へ寄付しています。
今回のご契約により寄付されるこの200円は、沖縄県における「子どもの貧困」の解決・改善に向けた活動に活かされます。

【0150ゆめ・みらい運動！】
1口50円から参加する社会貢献、毎月25日に指定のろうきん口座から自動で寄付できます。

本基金への寄付を通してSDGs「貧困をなくそう」等に取り組めます！

◆ わしたシマづくり運動

沖縄ろうきんATM、または提携するイオン銀行ATMやセブン銀行のお取り引き(お引き出し・ご入金取り引き1件につき2円)に応じて、寄付金額を積み立て、地域で活躍する非営利団体等や「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付することで、活動を支援しています。

2021年度実績　962,420件(非営利団体:1,300,000円、基金:624,840円)

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部の取り組み

◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop <全労済>指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品(慶弔共済、自賠責共済を除く)の新規契約件数に対して1件あたり100円の寄付金を実施しており、2021年度の寄付金は1,349,500円となりました。

また、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会の各指定整備工場では、組合員の年間車検入庫台数に応じた寄付を行っております。2021年度は1台あたり200円、総額979,800円となりました。

※こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場については、P15をご覧ください。

対象商品例

こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	住まいる共済	火災共済・自然災害共済
交通災害共済	団体生命共済	新団体年金共済

子どもたちに笑顔をひろげたい!

沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」は、車検入庫1台あたり200円を子どもたちの未来のために寄付します。

★石垣市に新たな指定整備工場ができました!! 預けて安心、こくみん共済 coop〈全労済〉28の指定整備工場ネットワーク

那覇市
- (資)新興自動車商会 〒900-0011 那覇市上之屋311 ☎ 098-868-2821 エネオス天久店給油所隣
- (有)久茂地オートサービス 〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1 ☎ 098-861-7482 ゆいレール美栄橋駅北口

浦添市
- (株)東日産自動車 車検のコバック浦添店 〒901-2125 浦添市仲西1-7-1 ☎ 098-877-4003 キャンプキンザー仲西第1ゲート向かい
- (株)ヒーロー 〒901-2101 浦添市西原6-1-6 ☎ 098-878-4444 和風亭浦西店ならび、浦西中通向かい
- 人情くるまや 三和自動車(株) 〒901-2101 浦添市西原1-3-3 ☎ 098-877-2107 パークレーズコート通向かい

豊見城市
- 海邦オートサービス 〒901-0231 豊見城市字我那覇666番地 ☎ 098-987-1434 県道256号線沿い高速名嘉地インター出入口近く

南風原町
- (株)大橋自動車販売 〒901-1104 南風原町宮平345-1 ☎ 098-888-2411 ジャスコ南風原店隣映画館通向かい
- (株)南風原整備センター 〒901-1111 南風原町兼城526 ☎ 098-888-1111 マックスバリュー一日橋店向かい
- (株)禅自動車サービス 〒901-1117 南風原町字津嘉山1162-1 ☎ 098-889-8810 南風原高校隣

与那原町
- (有)与那原自動車整備センター 〒901-1302 与那原町上与那原493-2 ☎ 098-945-8181 与那原警察署より那覇向け2つ目の信号を左へ100m

八重瀬町
- (株)ラッキー自動車商会 〒901-0417 八重瀬町外間169-1 ☎ 098-998-8600 南部徳洲会病院ならび

南城市
- (有)愛地モータース 〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1 ☎ 098-949-7641 船橋十字路を船越小学校向け1.5km先右

糸満市
- 南部モータース 〒901-0303 糸満市兼城339-1 ☎ 098-994-6200 TSUTAYA糸満店2件隣

北中城村
- 照屋自動車整備工場 〒901-2304 北中城村屋宜原226 ☎ 098-932-0147 ライカム交差点から普天間向け150M左

西原町
- (同)當山自動車販売 〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1 ☎ 098-946-6468 動物病院22時近く
- (株)東日産自動車 車検のコバック西原店 〒903-0121 中頭郡西原町字内間480-2 ☎ 098-917-1033 ハートライフ病院近く

沖縄市
- 宮平自動車整備工場 〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17 ☎ 098-937-9496 市民会館近く、中部観光バス左隣

うるま市
- 比嘉自動車整備工場 〒904-2224 うるま市大田500 ☎ 098-973-5407 うるま警察署ななめ向かい

北谷町
- ロータスゲイトワン整備工場 〒904-0111 北谷町砂辺365 ☎ 098-936-2130 第一ゲート前、センターサービス給油所隣

嘉手納町
- (有)ナカダ自動車商会 〒904-0205 嘉手納町字屋良370-1 ☎ 098-956-4602 ネーブルカデナ通向かい

読谷村
- 喜友名自動車サービス 〒904-0322 読谷村波平1628 ☎ 098-958-4885 タウンプラザかねひで読谷店信号をアリビラ向け100m右

名護市
- (株)北部自動車工業(オートザム北部) 〒905-0006 名護市字茂佐1607 ☎ 0980-52-0393 スーパーホテル信号を屋部向け500m左

宮古島市
- ロータス東和オート 〒906-0012 宮古島市平良字西里894-2 ☎ 0980-73-0505 BIG1からメイクマン向け300m右側
- (株)エコ・ビット 〒906-0015 宮古島市平良字久貝686-7 ☎ 0980-72-2045 ファミリーマート久貝店後ろ

石垣市
- ロータス宮良自動車 〒907-0004 石垣市登野城869-5 ☎ 0980-82-2216 「あこう木」斜め向かい
- タイヤハウス マルキュー 〒907-0004 石垣市登野城869-1 ☎ 0980-87-5809 タウンプラザかねひで空港向け50m
- タイヤハウス マルキュー 真栄里店 〒907-0002 石垣市真栄里448-1 ☎ 0980-87-7919 八重山保健所西隣
- NEW (有)アイランドボディサービス 〒907-0002 石垣市真栄里440-15 ☎ 0980-82-9039 TSUTAYA東隣

お気軽にお電話ください。
即お見積もりいたします!
●車検は1ヵ月前から受けられます。

●車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coop〈全労済〉の組合員です」とお申し出ください。●サービス内容は工場によって異なります。詳しくは工場にご確認ください。
●電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いにご注意ください。

支援を受けた人が「働く仲間」として参画

働く仲間
"ゆめの実現"
"みらいの安心"につながる
ろうきん・
こくみん共済 coop〈全労済〉
商品の利用

ゆめ・みらい基金
子どもを持つ働く人、
働きたい人を支えることで、
子どもたちを笑顔に

一人はみんなのために、みんなは一人のために
ささえ合うしくみ

ろうきん・こくみん共済 coop〈全労済〉
(推進委員会と連携した運動)

- 社会貢献寄付商品の利用に応じた基金への寄付
- 共済商品(一部を除く)の利用に応じた基金への寄付
- こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会による寄付

「共助」が「共感」により支えられ、「循環」する共生社会へ

お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、子どもたちを笑顔にできない

ゆめ・みらい基金による支援を受けられた方へ

ゆめ・みらい基金は、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの想いがつまった基金です。

ゆめ・みらい基金での給付と関わっている支援者のサポートを組み合わせることで「働くこと」や「安定した生活が得られ」、子どもたちの「ゆめ・みらい」への１歩につながっていきます。そして、支援を受けた方の生活が安定し「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となります。ぜひ、本冊に掲載されている0150運動（定額自動寄付）や〈ろうきん〉・〈こくみん共済 coop〉の取り組みを読んでいただき、出来る範囲で“心と心をつなぐ”共助拡大の運動にご参画ください。

ゆいはぁと北部へ緊急食糧支援

全駐労沖縄地区本部より贈呈式

基金を支援しているみなさまへ

はじめに0150ゆめ・みらい運動への参画をはじめ、日頃より支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。皆様からの心のこもったご支援が、多くの困難な状況の中にいる方々の生活の改善に繋がっています。皆様一人ひとりのできる範囲の協力が、大きな力になり、子ども達の自立への一助となっています。

「子どもは、沖縄の次世代を担う宝です。」

運営事務局として、皆様の想いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちが辛い環境で多くのことを諦めることが無い社会、誰もが夢や希望を持ち、みらいへの可能性を広げられる社会となるよう取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

基金運営事務局　（公財）沖縄県労働者福祉基金協会

全港湾沖縄地方本部より贈呈式

こくみん共済 coop 指定整備工場
沖縄県協議会より贈呈式

私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

2020年度団体寄付一覧

ハコニワ
沖縄県教職員組合国頭支部
沖縄電力関連産業労働組合総連合
沖縄電力生活協同組合
マルヰ産業労働組合
沖縄県労働金庫労働組合
全糖労石垣島製糖支部
北部地区労働組合協議会
沖縄県教職員組合那覇支部
琉球セメント労働組合
沖縄県教職員組合八重山支部
北谷町職員労働組合
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
沖縄ロジテム労働組合
中村敦司法書士事務所互助会
読谷村職員労働組合
沖縄県教職員組合島尻支部
(公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
沖縄県教職員組合
沖縄県職員退職者会
全日本港湾労働組合沖縄地方本部検数部会
西表島交通労働組合
自治労沖縄県本部
運輸労連沖縄県連合会
沖縄プラント工業労働組合
那覇市職員労働組合
那覇市臨時非常勤職員労働組合
全糖労久米島製糖支部
沖縄県労働金庫
こくみん共済 coop沖縄推進本部
こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会
名護市社会福祉協議会互助会
沖縄電力労働組合名護分会
沖縄県職連合北部支部
労金北部地区推進委員会
沖縄ヤマト運輸労働組合
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合

2021年度 団体寄付一覧

マルヰ産業労働組合
自治労宜野湾市職員労働組合
琉球セメント労働組合
沖縄電力生活協同組合
那覇市会計年度任用等職員労働組合
那覇市職員労働組合
沖縄県教職員組合国頭支部
北部地区労働組合協議会
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
株式会社新崎開発互助会
有限会社新京建設互助会
ありあけ保育園互助会
(公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
北谷町職員労働組合
沖縄県教職員組合那覇支部
全日本港湾労働組合沖縄地方本部
沖縄プラント工業労働組合
第一農薬労働組合
中村敦司法書士事務所互助会
沖縄食糧労働組合
全糖労久米島製糖支部
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
西表島交通労働組合
読谷村職員労働組合
沖縄県教職員組合
沖縄県職員退職者会
社団法人沖縄全逓共済会
沖縄電力関連産業労働組合総連合
自治労うるま市職員労働組合
沖縄国際大学事務職員労働組合
沖縄県労金労組　浦添普天間支部
沖縄都市モノレール労働組合
沖縄県労働金庫
こくみん共済 coop沖縄推進本部
こくみん共済 coop指定整備工場沖縄県協議会
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
沖縄市職員労働組合
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
おきさん労働組合
(公社)沖縄県母子寡婦福祉連合会
沖縄県勤労者互助会
ニライ消防職員協議会
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
労金八重山地区推進委員会
沖縄県職連合北部支部
名護市社会福祉協議会
労金北部地区推進委員会

2022年度 団体寄付一覧 7月末現時点

北部労福協
琉球セメント労働組合
中村敦司法書士事務所互助会
沖縄県教職員組合国頭支部
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
沖縄市職員労働組合

定額自動寄付による支援団体

沖縄県労働金庫労働組合
沖縄電力労働組合
沖縄県職労北部支部
オリオンビール労働組合
高教組北部支部
沖縄県職労宮古支部
全糖労宮糖支部
全糖労沖縄製糖支部
沖教組宮古支部
沖縄電力労八重山分会
自治労石垣市職労
八重山地区労金友の会
やんばる麦の芽会
自治労連宮古島市職員労働組合
沖縄プラント工業労働組合
沖縄県労働金庫共済会
那覇市職労水道支部
石垣市職員労働組合
全港湾八重山部会
竹富町職員労働組合
沖縄県第一次産業関連労働組合連絡会
沖教組八重山支部
私鉄沖縄県労働組合連合会
沖縄バス労働組合
沖縄バス労働組合共済事業部
日本郵政グループ労働組合沖縄地方本部
沖縄ブルーシール労働組合
イオン琉球労働組合

支援団体(預り保育・場所提供)

NPO法人　ファミリーサポート・愛さん会
保育すけっと in ナハ
宜野湾ナザレン教会

(申込み受け付け日順／公表を希望しない団体をのぞきます)

ろうきん 自動車ローン 無担保

変動金利

●無担保　●最高1,000万円
●最長10年　●保証料込

年1.0%～年4.8%

詳しくはコチラ！

※表示金利は2022年8月1日現在のものです。

こくみん共済 coop NEWS

4722Z001

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

子育て中のママやパパの声を
取り入れた共済です。

子育てするママとパパを応援！

0歳から加入できる、お子さまの総合保障

こども保障タイプ

公式キャラクター ピットくん

月々の掛金 **1,200円**

▶加入できる方　0歳～満17歳の健康な方
▶保障期間　最高満18歳の契約満了日まで保障

▼保障内容

入院保障	ケガで通院したとき	骨折・腱の断裂、関節の脱臼をしたとき
日額10,000円	日額2,000円	5万円
・交通事故、不慮の事故、病気等 ・入院時諸費用サポート共済金を含む ・日帰り入院も保障 ・1日目から最高365日分	・交通事故、不慮の事故 ・1日目から最高90日分	・交通事故・不慮の事故

※ここに掲載されている内容は、共済商品の概要を掲載したものです。加入できる年齢・条件、詳しい保障内容などは「ホームページ」「リーフレット」にてご確認いただくか、こくみん共済 coop までお問い合わせください。

子育て世帯をサポート！

こども保障タイプにご加入いただいた方が専用ホームページからご利用いただけるサポートサービスです。

育児のお悩みから進路相談まで、子育て・教育のエキスパートがメールで直接お答えします。

相談無料　こくみん共済 こども相談室

お子さまの勉強
なぜ?なに?相談　学習相談　進路相談
相談スタッフ：大学講師、予備校講師など

ママ・パパの育児
集団生活でのトラブル　妊娠・出産　離乳食のアドバイス
相談スタッフ：保育士、看護師など

専用のホームページアドレスは、ご加入後、共済契約証書送付時にご案内します。

こくみん共済 coop
全国労働者共済生活協同組合連合会
沖縄推進本部（沖縄県共済生活協同組合）
こくみん共済 coop 沖縄　検索

共済ショップ那覇店
那覇市松尾1-18-22
TEL.098-951-2002
【営業時間】月～金　9:00～17:00
第1・第3土曜日は10:00～16:00(予約優先)
(第1・第3土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

共済ショップ中部店
中頭郡北谷町字上勢頭813-3
TEL.098-926-6031
【営業時間】月～金　9:00～17:00
第2・第4土曜日は10:00～16:00(予約優先)
(第2・第4土曜日以外の土曜日・日曜日・祝日は休み)

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

〈0150（マルイチゴウマル） ゆめ・みらい運動！〉にご参画をお願いします！

〈0150（マルイチゴウマル）　ゆめ・みらい運動！〉とは、「1人一口50円（月額）の寄付で、沖縄の子ども達の夢と未来を支えよう！」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

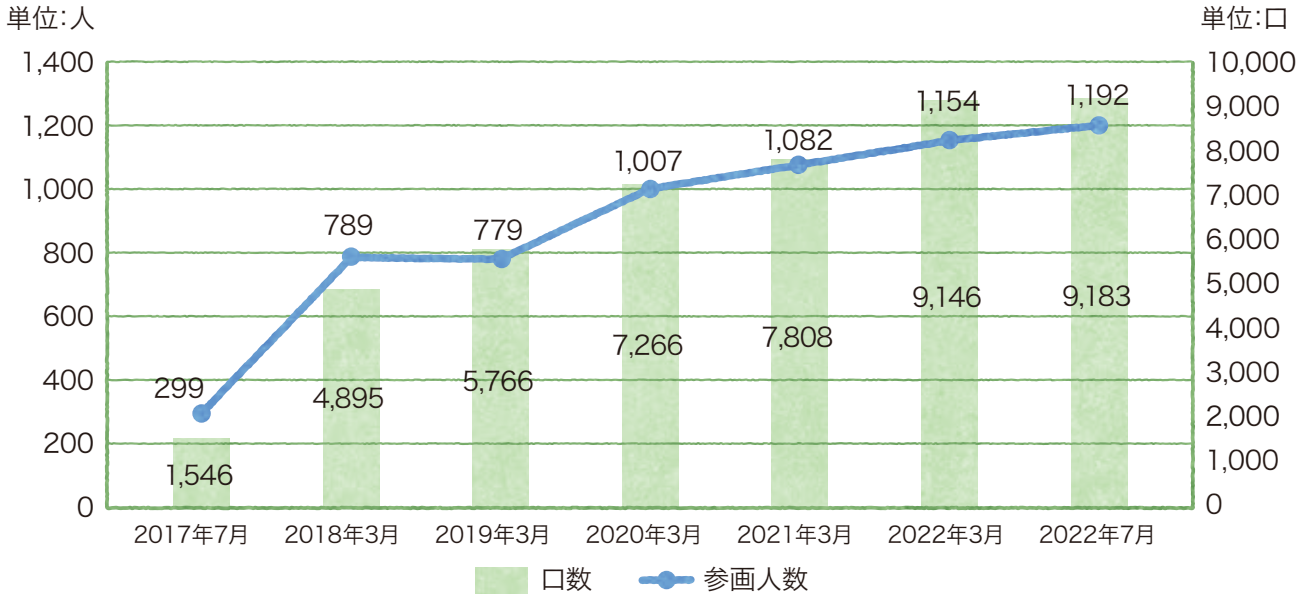
2021年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計5,005,250円（2021年4月～2022年3月）の寄付がよせられ、2022年3月現在では「9,146口（月額457,300円）」のお申し込みをいただいております。運動をに参画いただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop（全労済）沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口（月額50万円）」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」＝ 毎月ご希望の寄付額（1口50円とした定額）を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

目標 1万口！
（月50万円・年間600万円）

達成することで、基金の安定運営と、
会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう！



各会員・協力団体構成員（組合員・共済会員等）への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく（缶ジュース1本程度の節約で）参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会（総会）議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

（〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop（全労済）沖縄推進本部〉・〈沖縄県労福協〉）のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。

ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金
定額自動寄付システムのご案内

（この用紙は、コピーしてご利用いただくことも可能です。）

本用紙に必要事項を記入いただき、お近くのろうきんまでご提出ください。

▼

ろうきんにて、ご希望の金額の登録をします。

お申込みいただいた内容にもとづき、ご希望の寄付金額の登録を行います。事務手続きのため、開始まで約1ケ月程度かかることがあります。

▼

お客さまの口座から、口座振替を開始します。

お申込みいただいた内容で、ご寄付を開始します。振替日は25日です。25日がろうきんの休業日の場合は翌営業日になります。

■寄付金額等について

寄付金額設定は１回につき50円以上、50円単位でお願いします。
寄付を終了する場合（ご辞退）は、窓口まで届出をお願いいたします。
基金の継続的な運営支援にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

■口座振替手数料はろうきんが負担します。

通帳でご寄付内容をご確認ください。
通帳には「ユメ　ミライキキン」と印字されます。

■領収書の発行は控えさせていただいております。

基金運営に係る経費を削減し、寄付金を最大限支援に活用するため、領収書の発行は控えさせていただいております。確定申告等に使用するため、領収書をご希望の方は、通信欄にその旨をご記入ください。

※なお、ご希望された方の領収書については、毎年２月に前年１年分を取りまとめ、送付させていただきます。

ご辞退・（ご変更）は1ヶ月前にお届けください。

ご辞退や金額変更等は、届出をいただいてからろうきんの引落しが中止（変更）になるまで1ヶ月ほどかかります。お早めにお届けいただきますよう、お願いいたします。

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」定額自動寄付申込書

お名前	フ	リ	ガ	ナ																			
おところ	郵便番号					ー					おでんわ（　　-　　-　　）												
	都道府県																						

	ご寄付月	1回ごとのお引落金額（50円以上、50円単位）							お引落回数		年間ご寄付金額						
		十万	万	千	百	十	円				百万	十万	万	千	百	十	円
1	毎月							×	年12回	＝							

通信欄（確定申告等に使用するため、「領収書」をご希望の方は、その旨ご記入ください。また、お申込みのきっかけや動機などについてもお聞かせください。）

キリトリ線

20　　年　　月　　日

預金口座振替依頼書　沖縄県労働金庫　御中　収納企業（団体）名　（公財）沖縄県労働者福祉基金協会

	新規	本依頼書のとおり、私名義の指定預金口座から口座振替の方法により支払うこととしたいので、下記規定を確認のうえ依頼します。
	変更	今般、都合により本依頼書のとおり変更しますのでお届けします。
	解約	今般、都合により本依頼書のとおり解約しますのでお届けします。

収納企業（団体）名	（公財）沖縄県労働者福祉基金協会	金融機関届出印
フリガナ		
預金者名（法人の場合はお届けのとおりの代表者名も記入）		

金融機関名	沖縄県　　労働金庫　　支店・出張所					
預金種目	1.　普通（総合）			口座番号		
金融機関コード	2	9	9	7	支店コード	

寄付金（自動会計）

振替先名称	振替金額	備　考	自振コード
ろうきん　こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金	定額自動寄付申込書のとおり		47420028

振替日・払込日	25日（金融機関休業日は、翌営業日）

金融機関使用欄

（不備返却事由）
1.預金取引なし　3.印鑑相違
2.記載事項等相違　4.その他
［店名、預金種目、口座番号、口座名義（備考）］　［　　］

検印	印鑑照合	受付印

（CIF:　　）

検印	精査印	取扱者印

（本部）

預金口座振替規定

1. 私が口座振替を依頼した表記の取扱いについては、私の指定預金口座から以下のとおり引落しのうえお支払ください。
2. 指定預金口座の残高が支払日において請求書または表記の記載金額に満たないときは、私に通知することなく請求書の返却、振替の中止が行われてもさしつかえありません。
3. 引落しにあたっては、預金規定または当座勘定規定にかかわらず通帳および普通預金払戻請求書の提出または小切手の振出はいたしません。
4. 私の指定預金口座からの引落しにあたっては、貴金庫所定の順位で引落してください。
5. 貴金庫の都合により、振替日に指定預金口座から引落しできなかったときは、この日以外の日に引落し振替えても異議ありません。
6. この預金口座振替契約を解約するときは、貴金庫所定の書面によりお届けします。なお、この届出がないまま、私が指定預金口座を解約した場合、また長期にわたり引落し請求がない場合、その他、貴金庫が必要と認めたときは、私に通知することなくこの契約を解除されても異議ありません。
7. この取扱いについて、かりに紛議が生じても、貴金庫には迷惑をかけません。

2022年9月現在

「ろうきん　こくみん共済 coop　働く仲間のゆめ・みらい基金」に関するお問い合わせ先

公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会（基金運営事務局）
〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1カフーナ旭橋A街区6階　TEL:098-860-7845　FAX:098-894-7835